

「歯並びが悪くても乳歯だから…」 いいえ!早期からの開始が第一選択です!

将来の永久歯の歯並びに悪影響が及ぶ可能性がある中で、「どうせ生え替わる時期だから」などと放っておいてはいけません!歯科ではあごの骨の成長のタイミングをみながら、いつ矯正治療を開始するのが適切か判断します。乳歯列期で矯正治療が必要なるケースとしては反対咬合や交叉咬合があります。反対咬合は下の前歯が出てくる、いわゆる受け口の状態です。交叉咬合は奥歯のずれのことで指しゃぶりなどの癖が原因のことがあります。これらの不正咬合は自然に治る可能性は比較的低く、体の成長が終わってしまっ



ほおづえと指しゃぶりを幼少の頃から、習慣的に行っていたので、成人になると咬み合わせが大きくずれてしまいました。

A

Q



山口芳照 歯科医師
Yoshiteru Yamaguchi
浜松市中区佐藤町「やまぐち歯科矯正歯科医院」院長。インプラント、審美歯科、床矯正、ホワイトニングを得意とする。「自分がクライアント(患者)だったなら“受けたい”と思う歯科医療を提供する」が信条。

子どもの歯並びがおかしいことに気がついたら、乳歯のうちでも歯科を受診したほうがいいですか?

3歳児からの予防歯科

よい咬み合わせときれいな歯並びをつくる歯科矯正治療

取材/やまぐち歯科矯正歯科医院 ☎053-461-2906

②よく噛む習慣!
現代ではプリンやハンバーグなど柔らかい食べ物が好まれ、食事の際に噛む回数は数世代前よりも大幅に減っています。よく噛むことで歯や体を丈夫にするだけでなく、顎の発達と不正咬合の予防にも効果があります。左右どちらかで噛む「噛み癖」も注意!顔貌のゆがみの原因になることも。



歯並びの問題を放置すると、食事をうまくとることができなくなったり、成人になったときそのデコボコの見た目に劣等感をもつことがあります。

①むし歯をつくらない!
むし歯があると、大きな穴が空いたり、抜けることにより隣の歯が倒れ込んできて、不正咬合の大きな原因になります。砂糖や添加物が多量に含まれているジュースやお菓子などの加工食品を控え、野菜を中心とした献立など本来の日本人の食生活に戻すことが重要です。

③癖を直しましょう!
特に「指しゃぶり」は早期に直しましょう。5才を超えても続いている場合は上下の前歯に隙間があるたり開咬、出っ歯(上顎前突)になる可能性があります。ほおづえも顎の成長を妨げ、顔を歪ませる原因に。また慢性的な鼻炎などの原因で鼻呼吸ができず、常に口を開けた状態で口呼吸をしているお子様は不正咬合になる場合があります。

子供を不正咬合にしない3つの注意点

歯並びの問題は、見た目だけでなく、食事をうまくとることができなくなったり、さまざまな弊害があります。歯並びがおかしいな、と感じたときには信頼できるかかりつけの医師に相談した方が良いでしょう。不正咬合、歯並びが悪い状態は自然には治りません。ただ、お子様の習慣を直すことで、ある程度は不正咬合が予防できることをご存知ですか?
山口先生にお聞きしました。



やまぐち先生が答えます!

歯に関する悩み・質問に
ママミーヤ誌面上でお答えします!
※質問すべてに回答するものではありませんのでご了承ください。尚、これにより得た個人情報については他に開示しないものとします。質問はメールにて受け付け!
■アドレス/dental@c-shopper.co.jpまで